

アジアの友

The Asia-no Tomo

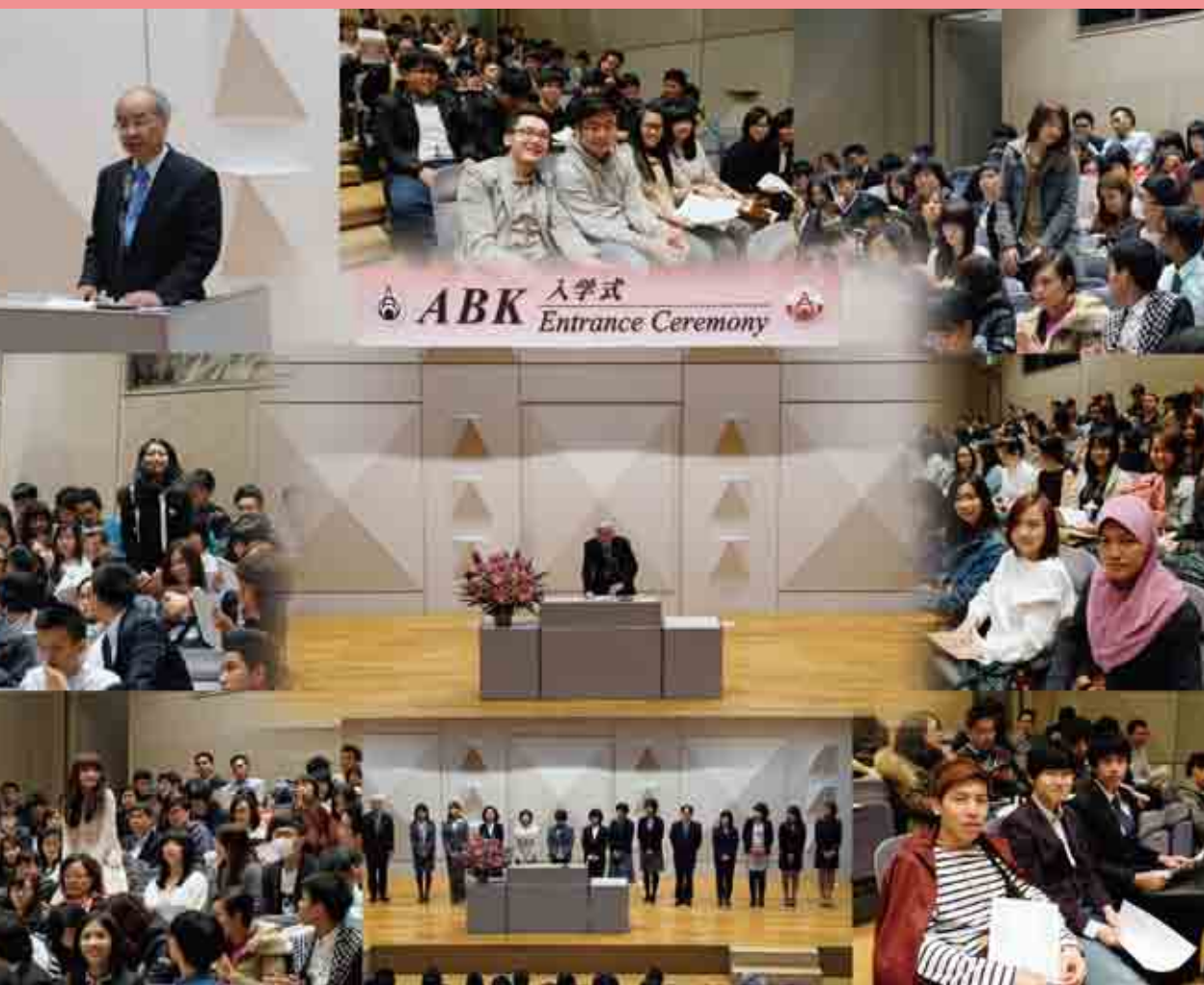
4-5

APRIL-MAY

2014

外国人特派員座談会

「在日特派員の見る 日本の現状と今後の展望」



ドンズー日本語学校からの留学生受入れをスタート！

(学) ABK 学館日本語学校ではベトナムで最大の日本語学校・ドンズー日本語学校から 10 名の留学生を受入れました。4 月より 2 年間日本語を学び大学等へ進学する予定です。



ABK 小木曾理事長とベトナムの学生たち（4 月 11 日、入学式会場にて）

公益財団法人移行のご挨拶

この度、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受け、平成 26 年 4 月 1 日から、「公益財団法人アジア学生文化協会」に移行致しました。

今後は、公益財団法人として気持ちも新たに、日本とアジア諸国の青年学生の国際相互理解促進になお一層、寄与してまいりたいと存じます。

ここに役員・評議員の皆様をはじめ、内外関係者の皆様の長年にわたるご支援を深謝し、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 法人の名称 公益財団法人アジア学生文化協会

2 代表者 理事長 小木曾友

3 主たる事務所 東京都文京区本駒込

2 丁目 12 番 13 号

4 移行年月日 平成 26 年 4 月 1 日

平成 26 年 4 月吉日

公益財団法人アジア学生文化協会

理事長 小木曾友

アジアの友

2014年4-5月号 第508号

目次

	巻頭
2	在日特派員座談会 「在日特派員の見る 日本の現状と今後の展望」
	私の意見 私の体験
25	日本に来た目的を忘れないように！ リム ジセル グレース フェルナンド ～フィリピン
	コラム
28	泰日工業大学 奮闘記（第5回） 「タイの中の日本」 池田 隆
	レポート
30	久々に来館した元在館生たち
	DATA
33	平成 25 年度 外国人留学生在籍状況調査結果
	知友会通信
37	奨学金・イベント情報
	MEMBERS
40	ご入会、ご寄付のご報告（2014年2月、3月）

<表紙> ABK 学館日本語学校、ABK 日本語コース 合同入学式
(2014.4.11 於、文京シビックセンター 小ホール)

在日特派員座談会

在日特派員の見る 日本の現状と今後の展望

主催：(財) アジア学生文化協会 後援：(公財) 東芝国際交流財団

日中関係、日韓関係が非常に厳しい状況にある中、日本とそれぞれの国がすれ違いを繰り返す真の原因はどこにあり、どうしたら改善できるのか。日本はアジア諸国から、世界から、今どのような目で見られているのか。そして日本のメディアはそれらを正しく伝えているのか……。韓国、香港（中国）、シンガポールの経験豊富な日本特派員たちに、報道の裏側にある日本と近隣諸国との現状と現実、そして未来への展望を語っていただきました。

日本との関わりと、日本の変化

符 財団法人アジア学生文化協会（アジア文化会館：ABK）のご依頼及び公益財団法人東芝国際交流財団さんのご後援で、今日、アジアの在日特派員の皆さんをお招きし、座談会を行うことになりました。本日の進行を務めさせていただくシンガポール出身の符（フー）です。日本特派員になって14年目になります。元留学生としてABKには大変お世話になりました。放送の勉強のために日本に来て、その後大学院修士課程を卒業してシンガポールに帰国し、テレビ局に勤めていた時期を含めると、20数年ジャーナリストの道を歩んで来ました。日

本留学がなければ、私は現在のように日本を見る目というか、見るチャンスもなかったし、今、日本から発信できるのも元留学生という側面がすごく大きいと思っています。1983年の来日から今まで、30年間見てきた日本ですが、私にとっては変わったところもあれば、全く変わっていないところもたくさんあります。今日、ここにいらっしゃっている韓国・中央日報日本特派員の金（キム）さんも、もう長い間日本から発信していますし、また後でいらっしゃる香港のフェニックステレビ特派員の李（リ）さんは、中国出身で、同じく元留学生でしたので、それぞれのご経験を通じた「日本の現状と今後の展望」について伺いました



と思います。

アジア文化会館は1960年から留学生たちの住まいを提供する民間機関で、日本では数少ない、アジアの方々が率直に話ができる場所です。ここでこのようなディスカッションの場を設けていただけるのは、私にとってはとても意味のあることだと思っています。日本にはアジアからの特派員はもともと少ないです。貴重なお話を伺えることを期待します。また、今日の座談会はABKの機関誌「アジアの友」に掲載する予定もあるそうですので、是非このような記録を多くの日本の方々、元日本留学生にも読んでもらい、ともに「日本及びアジアの将来」について考えていただきたいと思います。

さて、金さんに、自分がどうして日本と関わり始めたのか、また、今はどういう形

で関わっているのか、自己紹介から始めていただけますか。金さん、よろしくお願いします。

金 今日は貴重な時間にお呼びいただきありがとうございます。

私の自己紹介を申し上げますと、私が韓国から日本に一番最初に来たのは1980年で、中学生の時だったんですが、その時は留学生というよりは家族の、父親の仕事の関係で東京に来ました。最初に来た時は「あいうえお」も知らないで、漢字はその当時少し韓国で勉強していましたが、家の近くの日本の学校に行けと言われて、赤坂中学校というところの中学1年生に転入生として入りました。しかし、全然日本語がわからないわけで、最初に父親と一緒に校長先生とお会いした時、校長先生が隣に小学校



符 祝慧（フー チューウェイ）

Singapore Press Holding 日本特派員。
1983 年来日。日本大学芸術学部 / 東京
大学修士課程卒。

があるので小学校6年生に入ったらどうかという話をされたんです。その前に簡単な漢字のテストなどをやったのですが、もちろん0点で、それで校長

先生は小学校に行ったらと言われたわけですね。その時、あまり覚えてないのですが、私が「中学のクラスの成績が半分より上の順位にならなかったら、小学校6年生に入ります」という話をしたようなんです。それを校長先生が認めてくれて、じゃあ6か月待ってみようということになったんですね。私は6か月間中学で授業を受けて、授

業の内容を全部録音してですね、家に戻って日韓-韓日辞典を開きながら一生懸命勉強しました。それでほぼ6か月後にはだいたい目標としていた成績になったので、校長先生は中学で勉強を続けることを認めてくれたんです。

そういったことで日本との縁を始めたわけなのですが、2年半ほど日本の公立の中学校で学びながら日本の生活を経験して、1983年に韓国に戻りまして、戻ってから、20年くらいは日本語を全然使ってなかったんですね。まあ使う機会がなかったんです。その間に大学に入り、大学院に進んで、軍隊に行って来て、今の中央日報というところに入りました。

ご存知かもしれませんが、中央日報というのは昔サムスンが持っていた新聞社で、それが1998年に資本関係を解消して独立した新聞社になっているんです。とにかく韓国では一番規

模の大きいメディアグループです。そこに入りまして、社会部、経済部、政治部を主に回りながら、記者としての経験を積んで、2003年から日本特派員として来日したわけです。先程申上げた通り、日本語はまったく忘れていたのですが、来てみたら不思議なことに学生時代に覚えた日本語というのは思い出すんですね。それで1か月くらいで戻ってきまして、もちろん仕事が全部日本語に接することで、ニュースを聴く、見る、…そういう毎日だったので、早く戻ったのかも知れないのですが、とにかく中学

校時代の、留学とは言えないのですが、日本での学校生活が、今の私のベースになってくれたのかなという点で、日本に対しては本当に親しみを感じております。

それで2003年に来ましたので、もう11年になっているんですね。これは日本でも韓国でもそうですが、10年以上特派員として一つの国に居るといのは今までの記録のようで、それで途中で総局長みたいな名前が付いてしまいました。今まで5年以上東京特派員をやった記者というのはいなかったわけですから、いわばメディア業界では一番日本をよく知っている記者として、ある意味責任感を感じながら日々取材活動をしております。

実は2年前からは中央日報の中にテレビ局もできました。もともと1980年に全斗煥政権、当時の軍事政権になった時に、我々は韓国で唯一の民放テレビ局を持っていたのですが、強制的に軍事政権が閉局をしたんですね。その時に新聞社はテレビ局を経営してはいけないという法律を作ったのですが、その法律がやっと3年前に変わったんです。新聞社もテレビ局を経営できるという法律ができて、それをもって中央日報がテレビ局を新しく作り直して、今、私はテレビの特派員活動を同時にやっています。なかなか新聞記者がテレビの記者に転向するのは難しいことだと日々感じながら生活をしています。



金 玄基 (キム ヒョンキ)

中央日報東京総局長。2003年特派員として来日。1980年～2年半、父親の仕事の関係で日本に滞在し赤坂中学校で学ぶ

今、日韓関係、対日関係は非常に厳しい状況でございます。その中でなるべく両方の考えをそのまま伝えながら、良い方向に持っていけるようにできたらと考えながら今取材をしています。

とはいえ、やはり外部的な環境はなかなか厳しいものがたくさんあって、今の状況でそれを取り戻すというか、良い方向に改善していくのは大変厳しいのですが、特に韓国と日本の若者、学生に対してある一方的なナショナリズムというか、そういったものを煽らないようにしながら報道してい



くことがやはり大事じゃないかなと。そういう責任感を感じながらやっているところです。簡単に私の自己紹介をさせていただきました。

厳しい状況の日韓関係

符 最近、シンガポール及び東南アジアでも「東アジア」諸国、日本、韓国、中国、北朝鮮を含めれば4つの国に関心が強いです。21世紀になって、この地域は緊張感が顕著になっています。なぜ、日本は近隣諸国との関係で繰り返し同じ問題を起こしているのか。キムさんも2003年から特派員として来ています。ちょうど小泉政権の時ですね。この10年間、日韓関係について、どのように見えていますか。

金 そうですね、一応複雑な要因があると思うんですが、2003年から日本の総理は7人目なんです。人としては7人で、安倍さんが2回目ですから8回なのですが、サ

イクルがあるわけなんですね。いい時もあれば悪い時もある、ということがそのまま当てはまると思うんです。私が学生だった1980年代、その時はそんなに政治的な問題に関わってなかったのでよくわからなかったと思うのですが、過去そう感じていた日本、そして私が2003年に来て感じていた日本と、11年くらい過ぎたわ

けなんですが、少し変わりつつあるかなという気がやはりするんですね。取材活動じゃなくても、日々生活の中でも昔みたいなゆとりというか、余裕というか、配慮というか、そういうのが少し、だんだん無くなってきているのではないかという気がしているんです。今、符さんが言いましたが、韓日関係、日韓関係においてもそういうのがやはりベースには少しあるのかなと。なぜかという、やはり一つは日中韓をベースにした東アジアの力学関係というのが変わってきた。経済においても規模においても日本が断トツの2位だったのが、中国に抜かれて3位になってしまった。それでだんだんその格差が出てくる。その中でまあ団塊世代というか、豊かな経済を営んできた世代が少し高齢化するに連れて、そういう豊かさを経験をしていない世代がメインの30代、40代になっていく。その中で、少し一種のあせりというか、このまま日本は遅れていくんじゃないかなというような、一種の心情的な焦り、というのが、だんだん外

向けの言動として出てきているのではないかなという気がするんです。それが一番大きなバックグラウンドだと思います。

日韓関係に限って言いますと、私は酒の席などでよく日本の方々に「何度謝れば済むんだ」と聴かれるんですが、僕はいつも冗談半分で、「ちゃんと謝ればいいんですよ」と言うんですね。ですから日本としては時の総理大臣が過去の歴史に対して謝って反省するという意を表してきたという主張をするわけなんですけど、確かにそれ自体は尊重すべきだと私は思います。ただしそれが、年々変わる総理大臣ごとにずれが生じてくるんですね。だから韓国の国民側からすれば何が本当なんだということになるんです。いつもコロコロ変わって言うことに信頼性がない。真心が込められてないというような感覚というか、考えを持ってしまうわけなんです。

例えば、1993年、1994年、その時に村山談話とか河野談話とかありました。それでそれ以降は結構良い時期があったんです。1998年、小渕総理大臣の時の金大中大統領との日韓パートナーシップ共同宣言。そして2002年の日韓共催ワールドカップ。その時ずっと流れを見てみると、時として教科書問題とかたまにありましたが、全体的な構図から見ればいい関係で流れてきていたわけなんです。それで韓国の国民も文化を解放したり、良い関係というか、日本を尊敬する、尊敬できる国だという。そういう流れが若者たちにも広がっていった時期だと思うんですが、それが小泉総理大臣の

靖国参拝、そして2006年安倍総理になってからの河野談話に関する閣議決定。強制的な連行はなかった、証拠はない、閣議決定で政府の見解として河野談話を事実上否定したわけなんですよ。ですので、今日本の政府がとっているスタンス自体が日本人から見ればそれでいいんじゃないのと考えられるかもしれませんが、韓国の国民、もっと広く解釈をすれば世界の多くの人たちが、理解が出来ない行動を日本政府はとっているんですね。

例えば、昨日も韓国と日本の外務次官の会談が韓国であって、佐伯外務省事務次官が戻りましたが、その時に佐伯外務次官は韓国の外務次官に「安倍内閣として河野談話は継承していく」という話をしたんですが、これは韓国国民にとっては冗談じゃないという話になってしまうんです。なぜなら、国会と官邸で日本のスポークスマンである菅内閣官房長官は「河野談話を再検証する」という話をしているわけなんです。日本は再検証するけれど継承するというわけのわからない話をしているんです。じゃあ継承するんだったらなんで再検証するんだと。河野談話が出て20年以上が過ぎていきます。今、何をもって再検証するかもわからない。

公式的な河野談話に対する日本政府の立場というのは閣議決定されているんですよ。当時慰安婦に対する強制的な連行を裏付ける証拠はなかったというのが閣議決定されており、それが日本政府のスタンスなんです。しかし河野談話のメインは強制性

を認めているわけで、ここが矛盾しているんですが、矛盾している状況で日本政府は言ってるわけなんです。こういう状況を韓国の政府や国民は理解できない。ですから、一番の懸案の慰安婦問題でそういった掘みあいがあるから、今の状況では首脳会談をやってもしょうがないということなんです。そういうバックグラウンドがあります。

あと、日本の方々には言いづらい部分ではあるんですが、例えばこういうことなんです。安倍総理を含めて日本の政府、あと橋下大阪市長などの政界のかなりの方々は、「強制性がなかった」ということをずっと言ってるんですね。当時の民間業者がやって、管理の中でいろいろそういうごたごたはあったかもしれないけど、強制性はなかったと言ってるんですよ。じゃあなんで無いのと言ったら、証言だけじゃないかと。慰安婦の方々16人の聴きとりをした。そういう証言だけで、なんでそれが強制性を立証できるものとして河野談話はあるのかという主張なんです。言い換えればこれは北朝鮮に拉致された日本の方々のケースとあまり変わらないと思うんです。例えば今は17人、日本政府が公式的に北朝鮮に拉致された日本人として発表しています。警察庁の発表として拉致されたと言ってるんですね。強制は二つで、拉致と人身売買なんです。で、日本の政府は拉致されたと言っているわけなんです。じゃあどうやって何を証拠に17人に対して北朝鮮に拉致されたと言っていますかと言ったら、証言なんです。証拠はありません。北朝鮮の関係者

を聞いたわけではなく、北朝鮮の公式というか政府の文章があるわけでもない。何の証拠もありません。ただいろんな状況、そして関係者の証言などでこれは信憑性があると判断をして“拉致”と言っているわけなんです。

じゃあ日本はなぜ日本人に対して、同じ証言だけで拉致と言って、慰安婦の問題について、証言は認められないから、これは拉致とか人身売買じゃない、強制性はないと言っているんですかということになります。矛盾してます。ですから、グローバルスタンダード的な考え方をしないとイケないと思うんですね。

ですので、日本は親切な国で文化的にも優れている、技術的にも優れている。それは世界の誰もが認めていると思うのですが、こういうような言動の例を挙げても悪いですが、本当に小さい、経済力もなく、人口も少ない、あまり国力的に大きい国じゃないところだったらそんなことは言わないですよ。日本という国は民主主義の最先鋒で、世界をリードしてリーダーシップを発揮している、そういう国の立場から見ればこれはあまりにも見過ごせないような状況じゃないかなと、最近思います。

符 金さんがおっしゃったことは日々感じます。たぶんニュースの現場では、日本の新聞で読むというより、私たち特派員は自国の新聞を読みながら日本のニュースの現場を見ているから、情報の格差を見分けることが出来ます。情報の

取り方の違いで、日本社会の中では普遍的に受け止められていると思われる、日韓関係、または日本とアジアの関係はうまく行かないと思います。

金 私が大変だな、危ないなと思っていることはですね、日韓、韓日の政府次元のごたごた、葛藤というのはいいですよ。それはなんとか時間が過ぎれば良い方に行くと思うんですが、一般の国民間の対立感、敵対感、ヘイトスピーチ、そういうのが出てきているのが危ないなと私は思っているんですね。ですから、韓国も同じ状況ですけど、日本でも最近の週刊誌の見出しを見てると、“韓国”とか“朴^{ぱく}クネ大統領”とかが出ないと売れないみたいです。それで、けっこうな新聞社の一面とかを見てもあまりにも事実とかけ離れている記事が多くて、それを見る一般の国民がちゃんとした情報が伝えられないで感情的な敵対感を持つようになるということが私は本当に危ない状況かなと思っています。

ですから、いつも韓国の国会議員とか政府の人間とかが来ると、「あなたたちが悪いのはいいのですが、国民同士で対立、敵対感を持つ、それがエスカレートしていく状況はなんとしても解決して欲しい。朴大統領が安倍さんに会わなくてもいいから、日本のマスコミとインタビューをして、日本の国民と政府に対する感情は違うんだと、次元は違うんだということをちゃんと伝えて欲しい」と言ってるんですが、なかなかうまくいってないんですよね。これは安倍



総理も同じです。何度お願いしても韓国メディアのインタビューは受けてくれないんです。

ですので、民間レベルというか、私たちメディアの人間も含めて、政府次元でこういう対立をしている状況を更にエスカレートしないようにして、国民だけは信頼関係を保っていけるような雰囲気を作っていかなければいけないなと思っています。先程も言いましたが責任感とか一種の使命感というのを感じているところでございます。

符 私自身ですが、留学生として日本に來たばかりのころ、一番驚いたのは日本の同世代の人たちとは歴史的事実について語れないほど認識に格差があり過ぎたということでした。さっきおっしゃった慰安婦の問題も含めて、日本とアジア諸国との歴史認識の違いは大いにあると思います。

金 教育の格差もありますし、やはり解釈の問題だと思うんですね。日本人の方々でも御承知いただいている方は多いと思うんですが、歴史の問題において韓国と日本が違いを見せているのは3つなんです。①慰安婦の問題ですね。②それにサハリンに強制連行された、サハリンで強制労働をさせられた方に対する賠償問題、③そして原爆被害者に対する賠償問題、この3つですね。この3つが1965年の日韓基本条約に入っていたか入っていなかったかの法解釈を巡っての違いなんですよ。

ですから、強制された徴用工の問題が出ているんですが、徴用工の問題に限っては、本当を言えば韓国政府としては、これは1965年の基本条約に入っていると、私たちは思っています。ですから、今、問題になっているのは司法のところで、裁判所がこれは問題であるよという話があって問題になっているだけで、韓国政府がとっている立場はこれはもう解決済みの話となっているわけなんです。日本政府と同じです。

ですから、韓国国内で政府と司法で争っているだけで、まだ司法の最終的な判決は出てないんですね。それが出たら韓国政府も政府の立場をまとめて片づける必要があります。ですからそれは別です。別として、先程申上げた3つなんですよ。その3つの問題で、日本側は解決済みと言っているわけで、韓国側は解決済みじゃないと言っている。なぜなら慰安婦の問題が最初出始めたのは1990年代初めなのに、1965年の基本条約に入るわけがないだろうというような

主張なんですよ。しかし日本側としては全てがそこに入っているということなんです。ですから、私の個人的な考えは、1965年の日韓基本条約というのは政治的な利害関係があったり、政治的な妥結というような性格の部分もあったわけなので、もう来年で50年なわけですよ。節目になるわけですが、この節目の50年を迎えてですね、私は、今意見の違いがあるこの三つを新しく解釈して、合意した「新日韓基本条約」を安倍政権と朴政権が工夫をしてくださるわけですね、導き出せばどうか、ということを考えているんですね。ただしこれは過去の歴史に対する精算という性格だけではなくて、今抱えている問題、未来に抱える問題、単に政治の問題だけではなくて、経済の統合、EPAとかFTAとか、そして、国連での常任理事国の共同戦略というか、それもあると思います。もちろんその中に独島＝竹島の問題も入れられればいいと思います。難しい問題だと思うんですけど。

このようにひっくりめた、過去と現在と未来を一緒にテーブルに乗せて、全部解決できるとは思わないんですけど、できる部分だけをまずまとめて、それを来年、新日韓基本条約、条約じゃなくてもいいです、声明という形でも、未来を見据えてのアクションを考えるべきじゃないかなと思っています。いつも喧嘩しているばかりではなくて、もうちょっとそういう工夫をする必要があるのかなと私は思います。

符 私は取材中、東南アジアの日本を見る

目線と、中国や韓国の目線は違うと思う時があります。日本は戦後いち早く1960年代初めから、東南アジアへの企業の進出を始めます。現在、中国など東アジアでうまくいかない分、どうしても東南アジアに目を向けることになります。企業は利益中心ですが、政治的にうまく行かないと、経済にも影響が出ることを恐れます。「政経分離」というのは現実では可能でしょうか？ 日韓ではどのような状況でしょうか。

金 おっしゃった通りですね。ですから、そういう経済危機の時においては政治とは関係なく、アジアの産業もそうですが、韓国も中国も経済的な関わりというのは切っても切れない状況になってしまっているんですね。例えばサムスンが1位のマーケットシェアをとっているスマートフォンに入る素材の90%は日本のものなんです。次の経団連の会長には東レの榊原さんが就任しますが、東レも工場生産のほとんどは韓国の方に移っているんですね。そういう風に切っても切れない状況になっているので、それは政治とは関係なく動いていると思うんですけど、実際現場を見てみると、政治に影響されますね。ですからなんとしてもこの状況を打開しなければいけないなという話ですね。

海外メディアに対する情報格差

符 冒頭に申し上げたように、特派員の私たちは日本のマスコミとは違います。私が

よく感じるのは、取材現場に外国人の記者を入れるか入れないかで、質問の内容も違ってきます。日本は民主国家だと私は理解していますが、このように海外メディアに対する「情報格差」を何となく感じるがあります。

金 やはり日本は記者クラブという制度が根強くあるので、そこになかなか入れないというのは外国のプレスの立場から見れば厳しいところがありますね。例えば官邸の前に記者クラブの建物があります。政治部の人が入って記事を書いたりする建物があるのですが、その屋上でテレビ局の人たちが官邸を背景にしてマイクをとって放送しますね。よくテレビに映る場面だと思うのですが、外信はその屋上に行けないんですね。国内のメディアだけにそういう特権を許すというか、韓国では考えられないことですね。

最近思ったのは、2月25日ですから、一か月くらい前だと思うのですが、朴 槿恵（パククネ）大統領が就任一周年ということで青瓦台（せいがだい）で記者会見を開きました。それで外信記者を韓国内の外信記者クラブに呼んで、抽選で11人を選びました。質疑応答では14人が質問したんですが、その中で2人が外信でした。1人が中国のCCテレビ、1人がロイターです。で、その記者会見が終わった後で、日本の一部の新聞にも出ましたが、日本のマスコミから不満が出たんですね。韓国内で一番多く特派員が駐在しているのは日本なのに、なぜ日本

の記者に質問権をくれなかったんだと。今までなかったことだ。というような記事が産経新聞などに載りましたし、かなり揉めたという話を聴きました。

僕はそれを見て、コラムを一つ書いたんですけど、それはここ（日本）も同じなんです。僕は11年いますけど、官邸での総理大臣の記者会見に2009年までは外信記者は入れなかったです。呼んでくれませんでした。で、2009年に民主党政権になってから入れることになりました。それ以来ほとんどの記者会見には行こうと思って行ったのですが、その度に手を上げて誰も指してくれない。指される外信は決まっています。ロイターとたまにAPとかですね。質問内容なども事前に決まっているんですね。

なぜそれがわかったかという、2009年の菅直人総理大臣の時、宮内庁にあった朝鮮王室儀軌というのを韓国に返すというような談話がありました。菅談話と言いまして、この談話は全て100%韓国に出しているんですよ。ですから、さすがに韓国の記者に質問させないわけにはいかないわけです。それでその時に私に電話が来まして、「質問しませんか？ 質問を事前に送って下さい」と。それで当日僕は手を上げたのですが、いかにもその場で指されるような形で、僕を指したわけです。それでこのシステムがわかりました。

それが2009年以降では唯一韓国の特派員が日本の総理大臣の記者会見で質問をしたことです。それ以前は全然出来なかった。

この5-6年でただの一回なんですよ。で、日本のマスコミは韓国で、もうずっとやってきたから、指してくれるのが当然なのになぜ今回指してくれなかったんだということで、記事まで書いてしまったんです。だから平等じゃないんです。だって日本の外国人記者クラブの特派員の数からいえば、単一の国家では今は韓国の特派員が一番多いんです。でも質問はさせてくれないのに、なぜ自分たちだけそう言うんだということになる。ですからお互いの立場を逆の立場から考えて物事を考える必要がどちらもあるんじゃないかなと。これはグローバルスタンダード等、いろいろ繋がってくる問題だと思うのですが、そういう考え方をメディアの世界でも持つべきですね。

符 それが民主国家である日本の「システム」であるというのは本当に情けないです。

小木曾 民主党政権に代わった時に少しは変わったんですか。

金 フリーのジャーナリストとかですね、そういう人を入れようという動きはありましたけど、なかなか記者クラブの中に入るのには厳しいですね。一方で外国ではどの国の記者も全ての記者会見に入ることができます。

日本は右傾化しているのか

小木曾 今回の安倍総理の靖国参拝につい

ては、中国と韓国からの反発は計算済みだと思うのですが、アメリカから強い反発が出ましたね。あれについては、安倍さんは極東国際軍事裁判（東京裁判）で東条英機などは戦犯ということで処刑されましたが、しかしあれは戦勝国側が戦勝国の論理でやったんだと。国内的にはあれは犯罪じゃないということを言ってるんですよ。そうすると、結局あの人たちを戦犯じゃないということは、日本がこの前やった戦争は、明らかに侵略戦争だと思うのですが、それを否定しないと論理が一貫しないんですよ。そうすると、アメリカは全部否定されることになりますよね。そこまでアメリカが感じて、ああいう反発が出ているのではないかというのが私の考えなのですが。

金 理事長がおっしゃった通りだと

思います。ですから、もう常に事前にサインは出てたんですよ。2 + 2の会議の時にですね。国防長官と国務長官がアメリカから来た時に、1キロも先の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で黙とうして献花しましたよね。初めてだったと思うんですが、通常であれば2人が来てそこに行かなくてもいいんですよ。行かなくてもいいのにわざわざ2人で一緒にそこに行ったのは、靖国に行くべきじゃないですよというサインを送ったわけですね。理事長が今おっしゃったように、アメリカ側からすればA級戦犯が奉られて



小木曾 友（おぎそ ゆう）

公益財団法人アジア学生文化協会理事長。

1962年アジア学生文化協会に入職。

1995年より現職

いる靖国に行くということは東京裁判を否定するということなんです。東京裁判を否定するということは、サンフランシスコ講和条約を否定することになるんです。サンフランシスコ講和条約を否定するということは、日本が戦後国際社会に復帰する条件としてそれを受入れたわけですから、アメリカを含めた戦勝国に対する挑戦になるんです。ですからアメリカ側からすればこれは受入れられないということになるんです。

今アメリカ側が安倍政権に対して厳しく対応しているのは、たぶんそういう背景が



あるわけで、安倍政権が錯覚していると思うのは、これはアメリカで民主党政権が共和党政権に代われば大丈夫だというような考えを持っているみたいですが、共和党も同じなんです。もちろん共和党の中には一部ナショナリズム的、そういうのもいいじゃないかという人もいるかもしれませんが、共和党の人たちもほとんど、日本のマスコミはあまり伝えてないのですが、これは受入れられないことなんです。

ですから、全部繋がる話になってしまうのですが、私が心配なのは安倍さんがやっているような一連の動きが日本の若者に浸透してくるような気がしてならないんです。先週ですか、浦和レッズのスタジアムで「ジャパニーズ・オンリー」という、李忠成選手を排除しろと言う垂れ幕が張られました。それが3月の週末土曜日だったと思うのですが、その前の週には、大阪で行われたガンバ大阪と浦和レッズの試合で、その時初めてイギリスから移籍してきた李忠成選手の名前を紹介した時に、彼は日本国籍で日本人なんです、アウェイである浦和レッズのサポーター達がブーイングをした

みたいなんですね。それがあった翌週連続で「ジャパニーズ・オンリー」という垂れ幕があった。それでそれを見つけたサポーターの一部が、前半の20分に垂れ幕を撤去すべきだと球団の関係者に言ったようなのですが、球団は試合が終わるまで垂れ幕を取り下げさせなかった。そういう流れを見て、これは「ジャパニーズ・オンリー」が「オンリー・ジャパニーズ」になるんじゃないかなという気がするんですね。孤立化の方向に行っているんじゃないかと思ってしまいます。

符 最近のアジアの世論を見るとどうも日本が右傾化しているとの報道が多い。右傾化というのは小泉さんの時も同じようなことがありましたが、今回の安倍さんは本当に加速的にやっているところがあるから、海外ではそういうふうには伝達されているのかも知れません。韓国の場合は、日本は軍国主義になるとか、そういう考え方があるのでしょうか。

金 日本が軍国主義に走るとか、韓国としてはわからないですよ。それは日本が決めることで、韓国としては世論が2/3まで行きましたよ、というような話をするわけにもいかないし、そういう判断もできません。ただそういうふうに見られているのが日本人にはわからないんです。日本人が一番よくわからないんですね。自分たちが今どういう道に行っているのか。もうちょっと正確に言えば、日本が今世界からどういうふ

うな目で見られているかをあまり意識しないではないかと。メディアも同じだと思います。メディアも国際ニュースとか見ますと、日本を見る目に関しての報道がありませんように思うんですね。

ですから、そういうヘイト・スピーチが、1年くらい前からあったわけじゃないですか。それは僕が経験した日本では、初めてだと思います。僕も週末にヘイトスピーチの取材に行くんですけど、現場で見ると言いきれないくらいの凄まじさというか、言葉の激しさというのがあるわけなんですね。それを公然と道路上でやりながら行進をするというのは時代がですね…、これをどう解釈すればいいのかわからないですね。

ただしそれに対する反発というか、おまえらがそれをやっているのは間違っているんだぞという市民団体の人とか、一般の方々が一緒に行進している。やはり日本の中でもこういう人たちがメジャーになっているという安心感というか安堵感というのは感じますね。彼等は最初は少なかったのですが、だんだん増えてヘイトスピーチをやっている人間より増えました。ヘイト・スピーチをやる人たちが300人いれば反対する市民は400人、500人集まります。ですからそういう方々を見ると一種の安心感というか、「大丈夫だろう、こういう方々がいるから」という感情はありますけど、さすがにそういう一時的な行為を起す人たちが出てきたことはですね、やはり日本としては無視できない。しかしこのことについて一般の人々があまり重みを感じないような雰囲気

気は問題だと思いますね。

特定の人の話をすると思うですけど、東京都の都知事選挙で現れた票も、けっこう深読みするところがあって、20代、30代の票の動向を見ると、20代の人の投票数で2位、1位に近い2位を得た人がいますよね。彼が主張しているのはまさにヘイトスピーチをやっている人達と同じ主張ですから、そういう、ネット右翼というのですが、彼等にたまっているストレス…、我々は捨てられた世代だとかですね…、それを民族主義、ナショナリズムに移して爆発しているのではないかなというような気もします。そしてそれをうまく使っている、巧妙に使っている政治家達が力を得てやっているのを見ると、どうかなと思いますね。

もう一つ付け加えますと、NHK ですよ。最近の出来事で言いますと、これはもう話にならないといえますか、世界がどういふうに見ているかというのはNHK 会長の問題発言一つにおいても出てくるとは思いますが、NHK 自体だけじゃなくて、もっとひどいのが、NHK に対する日本政府、そして安倍総理の対応の仕方です。見てみますと、「これは個人の意見で、もう取り消した話だからそれでいいじゃないですか。放送法に乗っ取ってやればいいですよ」という話をしていますが、拡大解釈すれば、日本の子供たちに日本の総理大臣が「あなたたち罪を犯してもいいですよ、それで取り消せば問題ないですよ」と言っているのと同じです。だからやった行為に対する責任を負わせないということは、これは社会とし

て成り立たないですよ。それをNHKの会長に対して安倍総理が言っているわけです。このことを国際社会がどう見ているかというのはあまり報道も出てないし、それはちょっと残念だなと思います。

編集部 一連の動向に常識ある方々の中には不安を感じている方もけっこういるんですが、それがなかなか届かない。

金 みなさんそう思っていると思うし、信じてますけれど、行動で起さない限り、国際社会から見れば何で黙っているの？みんな認めているの？と思われるわけです。思われるのが大事なんです。実際思っているのかどうかというのは関係なくて、思われているのが大事なんです。NHK内部もそうなんです。シンガポールはどうかかわからないですが、普通の国の会社でこういうような不祥事が起きて、トップがそういうことをすると、内部が黙っていないですよ。記者達は何を言っているんだ、出て行けと、まあ出て行けとは言えないかも知れませんが、責任ははっきりとれと。いつも日本のマスコミは説明責任とか言うんですけど、NHK内部からはそういう話も聞こえてこないわけですよ。

ナショナリズムと愛国心

符 香港のフェニックステレビの李さんに話を伺います。東アジアではよくナショナリズムという言葉が聞かれます。特に日本

のマスコミは靖国神社及び歴史認識の問題で日中及び日韓関係を報じる時、必ず韓国と中国の国民は「ナショナリズム」に問題があると反発しています。李さんはそのような報道について、どのように受け止めていますか？

李 ナショナリズムというのは非常に難しいテーマで、私が修士と博士論文の時に研究していたテーマでもあるんです。私は日本で2007年から香港のフェニックステレビの特派員をしまして、その7年間の特派員としての経験を振り返ってみますと、おそらくこの2-3年が日本においても中国においてもお互いのナショナリズムに対する高揚のピークの時期ではないかと思います。特にみなさんご存知のように日本と中国は島の問題ですずっと揉めていまして、最近の数字を見ますと、まず一つ驚くべき結果が出ています。日中双方の国民の、お互いの国に対する好感度が今までで最悪なんです。これがもう9割を超えているんです。つまり、90%の日本人が中国に対する見方が非常に悪い。それから9割の中国人が日本に対して好感をまったく持っていないということなんです。これはいろんな方の話を聴いても、1972年の日中国交正常化以来、もっとも悪い、最悪な数字で最悪な時期になってしまっていると。

このナショナリズムの根源に何があるのかといいますと、私は恐らく日本も中国も内圧というのが存在しているのだと思います。例えばこの島の問題に関しては、今自

民党政権なんです、一番最初のスタートが石原さんが尖閣を買いたいというところから始まって、日本政府、当時は民主党政権だったのですが、野田政権は、本当はこの問題をあまり外交問題にしたい。そうすると国が買うしかない。そこはもちろん政府の判断ミスがいろいろあったかと思うのですが、ただ自民党政権になって、この島に関する日本の姿勢がそもそも変わってきたんですね。なぜなら昔、日中国交正常化の時にこれには黙認があったんですね、棚上げという。しかし、自民党政権になってからこの棚上げについて言及する人はほとんどいませんし、いたとしても、ほとんど政治的な影響力を失ってしまった政治家しかいないと。その中で誰かが出てきて、この日本国内のナショナリズム、あるいは島についてはもっと中国と外交的なことも考慮した上で、これは少なくとも領有権に関するお互いの相違があるということを認めましょうという人は誰も出てきていないんですね。なので、それは日本国内の一つのナショナリズムが影響しているんじゃないかと私は思います。

それから中国も同じで、この島の問題が起きてから、ネット世論を見ても、非常に日本に対するバッシング、それからどんなことがあっても日本が悪いとなる。中国のメディアもそうなんです、この2年間で



李 焱 (リ ミャオ)

香港フェニックステレビ東京支局長。
1997年来日、慶應義塾大学大学院政策
メディア研究科博士課程修了

国のメディアの報道ぶりを見ますと、そうした中でメディアの報道もかなり傾いているんじゃないかと私は思います。

日本と中国のこういったナショナリズムの高揚、そしてメディアがお互いに対する陰悪感をアピールすることによって、さらに悪い連鎖が起きているのではないかと思います。一つの例を挙げれば、去年一月に中国の飛行機が尖閣の近くに飛んできた、日本はどのように対応すればいいのかということが話題になりまして、警告射撃をするかしらないかという話をみなさん非常に注

目していたんですね。中国の飛行機が日本領海内に入ってくれば、日本は警告射撃をしますということを宣言すれば、中国から見るとそれは宣戦布告の一種であると受け止めるわけです。去年の1月に防衛大臣が警告射撃の話を書き記者会見で聴かれましたが、その質問をしたのが私です。そうしたら何とその日のうちにですね、朝日新聞が「防衛大臣が警告射撃を宣言しました」というタイトルでニュースを出しているわけです。でもそれは事実ではなかったですね。防衛大臣はあくまでも国際的なルールに基づいて警告射撃を・・・「警告射撃」というキーワード自体にも言及していませんでした。「国際的なルールに基づいて対応します」としか発言してなかったんですね。しかし朝日新聞の報道が出ましたら、今度は中国の環球時報－これは中国で一番激しい報道ぶりのメディアで、そこが大きく取り上げて、その日のうちにトップニュースになってしまったんですね。日本が警告射撃を宣言したと。これはあくまでも一つの例なんですけど、こういったお互いの誤った報道がさらにお互いの国民感情に非常に悪い影響を与えてしまっているのが現状だと思います。

符 日本の新聞がこういった歴史問題に関して、相手国のナショナリズムを指摘すると。韓国ではどのように思いますか。

金 ですからナショナリズムの問題はですね、よく日本でも何かある時に韓国のナショナリズムはすごいぞ、教育もすごいぞとい

う話が聴かれるんですが、私は愛国心とナショナリズムというのをはっきり区別すべきだと思うんですね。これを混同して使ってしまうケースもけっこうあると思うのですが、私の個人的な意見からすれば、韓国のほうが愛国心はすごく強いです。ものすごく強いです。ですから、アメリカで今慰安婦の少女の像を韓国の人たちが、いろいろな都市に建てるというようなこと、これは全部アメリカの市民権を持っている、国籍はアメリカになっている人たちですけれど、政府がどうだこうだ指示するわけがないんですよ。彼等がアメリカ国籍なのに全部動いて自分で運動してやっているわけなんです。彼等がなぜそれをやっているかという、愛国心なんですよ。ですので、我々が今言っているナショナリズムの弊害とかですね、そういうのと愛国心を混同して一緒にしてごちゃごちゃにしては困るというような気がするんですね。

ですので、韓国に限って言うと、ナショナリズム的な部分というのが、愛国心とは違うというのが一番表れているのは、若者の考え方だと思うんです。日本という国に対しての好き嫌い、そういうアンケートの調査と日本の政治家、安倍政権に対する調査というのはすごく乖離があるんですね。韓国に行く日本の方々から「韓国に来る前はこんなに日本に対してナショナリズム的な国なんで、卵でも投げつけられるのではないか」という話をよく聴いたりするんですが、一般の方の日本、そして日本

人に対する感情というのはものすごく良い部分があるんですよ。心情的にメディアが動くのは政治の部分がメインになるわけで、そこで動いてしまうのがナショナリズムだと言いきれるか、というのはやはりあるわけなんですね。ですので、ナショナリズムの議論をするにおいても、ごちゃごちゃにして、全部一緒にして、悪い方向に持っていくたら、もっと悪循環に陥る可能性があると思うので、そういうこともちゃんと見極めながら対応したほうが、私は東アジアのこれからの協力関係においても望ましいことではないかなと思いますね。

アジアのメディアと日本のメディア

符 日本のメディアは政治を中心に動く部分が多いです。私の認識ですが、右翼的な行動は一握りの人たちだと思います。その辺は日本についての報道にも課題を残しています。

李 私のスタンスはうちのテレビ局のスタンスとももちろん同じなんですけれど、中国のメディアが政府の意向を受けた報道しかできないのに対して、特別行政府は客観的事実を伝える。それが第一のスタンスです。それから真実を伝えることが一番だと思いますね。もちろん記者やリポーターの自分の見方がニュースの中に恐らく反映してしまうことはあるかもしれませんが、なるべくそれは視聴者に考えさせること、真実を伝えることが一番大事だと思います。もち

ろん例えば、靖国の問題については日本の首相が靖国神社を参拝しました。中国で非常に批判的です、韓国も批判的です。ただこの靖国の参拝に関しては一般の日本人はいったい何を考えて、なぜそれが必要だと思っているのかということもこれは報道の中で一つ反映をすべきものですし、それからこの靖国の参拝を批判するだけでなく、この問題は日本の中でどういった論争があり、それをどのように解決していこうとみなさん見ているのか、例えば国立追悼施設の建設とかですね。昔の福田（康夫）総理の有識者懇談会でどのような提言をして、その提言がなぜ挫折してしまったのか。遺族会の人々がどのような見方をしているのか。A級戦犯だって、色々な見方があるわけですよ。それがやはり真実を伝えることが一番大事だと思いますね。

例えば安倍総理が悪い、非常に悪い総理だと中国の中では一般的に報道されているのですが、安倍総理は村山談話を継承しませんとは一度も言っていないんですよ。そういうのは事実で、それは中国の中でいつもの報道では安倍総理は村山談話を否定しました、絶対継承しませんというふうに言っていると。ですからそれは違いますよと、事実を伝えることがこのセンシティブな時期においては大事なことだと思います。もちろんそれは非常に難しいことだと思いますが、そのように努力をしています。

金 私も同じですけど、今、李さんがおっしゃった部分で村山談話の話になりました



た。放送する側からすれば安倍総理が国会に出て村山談話を否定したことは今までありませんという話をしているので、それだけをとってみれば、やはり村山談話を継承ということになるかもしれませんし、そういうふうに報道するのが正しいかもしれません。

で、日本のマスコミと韓国のマスコミでジャーナリスト同士で話してみると、違いを感じるんです。日本のメディアというのはすごく詳細というか事実関係にこだわるんですね。もちろん大事なことなんですが、それが基本ですね。しかし、韓国のマスコミというのは事実関係を基にして、これをどのような脈略で解釈するかという部分に、主に重きを置きます。村山談話をやりましたけど、国会での安倍総理がこういうふうに話した、とだけ伝えれば終わりです。私から見ればこれは通信社がやっていることです。いろんな通信社が配信しているわけで、それだけ見ると全然違いがありません。

ただ私が注目するポイントは、安倍総理が村山談話を継承すると言いながら、侵略と植民地支配という二つの言葉を発しないところです。民主党が何回も「あなたは継承すると言っている。じゃあ植民地支配、侵略というのを認めますか？ その話をして下さい」と言っても、絶対言わないんですよ。今まで言ったこ

とはないんです。ですからそれを脈略で見ると、これは言わないわけですね。今までの全ての総理大臣がそれを言ってきたんです。

ですから韓国サイドから見れば、継承すると言っているのに、その単語を絶対に使わないということは、これは事実上、継承しないことと同じじゃないかというような解釈が出来るわけなんです。ですから、事実関係を伝える観点から見れば、これはそのまま安倍さんが言った通りに伝えるのが正しいと思います。ただし、伝える側からすればそれがどういう意味を持つか、そしてこれが歴代の総理大臣とはどう違うか。というのを交えての記事になってしまうわけなんです。そうすると表現とか言葉が少し激しくなったりするケースがたまにあります。ですから日本のメディアはなぜそういうふうに書いたんだ、安倍さんは国会でそう言ったじゃないかというような話をするのですが、やはりアプローチが違うわけで、李

さんがおっしゃったように、違う方向で見出しが出たりするわけなんですよ。

ですからこれはどちらが正しいかは私わかりません。だけれどもそういうような見方もあるということは日本の方も理解すべきじゃないかと思います。

符 私が常々考えているのは、例えば靖国神社参拝に関しては、いつも日本のメディアは遑って質問できないんですよ。日本のメディアは総理に対して、「参拝したら中国、韓国は反対しますよ、どう思いますか」という質問だけしますね。だけどこの問題はこれだけじゃないんですよ。本当は、この問題は遑って靖国神社の中にはどういう人々が奉られているか、その神社の性質とか、そこまで広く聴かないといけない。しかしこの問題について日本のマスコミはほとんど触れません。でも私たちアジアのメディアはこの靖国神社の背景とかですね、かなり繰り返して説明しますから、こういう問題を扱う時の視点は、私たちのメディアと日本のメディアとではすごく違うんだなと思っています。李さんはよく首相官邸に行って、手を上げて質問しますけれど、何か感じることはありますか？ 例えば日本の記者の質問と自分の聴きたい質問についての差異というか。

李 それはもうこの2年くらい特に感じます。総理官邸で私が手を上げて「香港フェニックス・テレビ」というだけで、他の日本人記者は「誰だ？」みたいな顔をします

ね。それで一つ例を上げると、去年鳩山元総理に単独インタビューしましたが、尖閣についての言及があり、そこで「尖閣という島は日本が盗んだと言われても仕方がない」というような発言があったんです。このインタビューがフェニックス・テレビで放送されると日本の中ですごい大騒ぎになってしまって、その日のうちにほとんど全てのテレビがフェニックス・テレビの映像を購入して、そこで鳩山さんはフェニックス・テレビの戦略によって、こういう発言をさせられてしまいましたと報道されました。しかし、その内容に関しても、官房長官の記者会見で、私もその会見に参加していたのですが、日本人記者が官房長官に「香港フェニックス・テレビは鳩山さんにこのような発言をさせましたけど、どういった狙いで、こういったインタビューをしたと思われませんか？」という質問をしたんですよ。

その質問を聞いて、私は非常に違和感を感じました。なぜなら、主観的な見方でフェニックス・テレビのインタビューを評論して、しかも非常に悪意的だと私は感じたんですよ。なので、日本の記者は日中関係が悪化してしまっているから、本当に中国のこと、あるいは中国の報道に対して、もの凄く敵視しているように時々感じます。

例えばみなさんもお聴きになると思うんですが、日本がベトナムとか東南アジアの国に海上保安庁あるいは自衛隊の船をこれから ODA で供与しますといったニュースのタイトルに必ず、“中国を牽制”という、

この一言がついてくるんですよね。なので、それは本当に日本メディアが視聴率を考えているのかわかりませんが、必ず中国を敵視するように考えた記事の作成の仕方、私は非常に違和感を持ちます。特にこの1年間はそれが非常に顕著だと見ています。

符 先程キムさんの話にもありましたが、今の日本は経済が中国の次、世界第三位に下ったので、心理的な「アンバランス」が生じています。李さんはその辺、日本のこのような心理など、ほかに何か感じたことはありますか。

李 そうですね、色んな面でそれは出てきているんだと思います。私たちのデイリーなニュースではあまりそこは触れることは少ないのですが、ただ日本ではどんなことがあっても、すぐ中国と関連付けるとするのが最近の一つの流れになっているんじゃないかと思いますね。インドにしてもベトナムにしても東南アジアの国との関係の強化にしても、どんなことをやっても中国を牽制するためだというふうに。もし日本のメディアがそういう世論を作っているのであれば、当然そういった報道を見た一般の日本人がそのように感じるのはいらないと思います。だから9割以上の日本人が中国に対して好感を持たないと。しかし、中国の軍事力、国防費、そういった数字が出てくる度に日本はものすごい報道ぶりですよ。だからそこはお互いにかなり煽っている面があると思います。

編集部 それは社の方針なんですか？ それともジャーナリスト自信がそういう報道をしているということなのでしょう。

金 記者と社の立場というのは、やるにつれて一体化していきますからね。時間が過ぎるにつれてそうになっていきますから。日本の政治家もそうですがマスコミの責任も大きいと思いますね。

例えばこの前のダボスフォーラムで、安倍さんが欧米のマスコミを前に、第一次世界大戦前の状況と今の日中の状況は似たような状況ですと話しました。それでその話が報道された後、いやそんなことは全然言っていないと、日本語の全文を公開したんですが、実際その場にいた人に私が聞いたら、そういう話があったわけですよ。ですから、これに対して、通訳の間違ったという、話をしたんですね。そこでフリーの通訳を使って、彼がそれを詳しく説明するといったサービス精神があったかどうか分からないのですが、それでその一文が入ってしまったという説明を日本政府がしています。しかし私はそれ自体、日本政府は問題だと思うんです。外務省がそういう通訳の人を使って、そのことに対しても自分たちの誤りとか責任を何も言わないで、俺はちゃんと言っているのに欧米のメディアが問題だと言っているという。そういう観点から書く日本のメディアもなく、安倍さんはちゃんと言ったよというだけの報道しかしません。

李さんが先程日本の記者の質問の話をし

ましたが、私も問題かなと思うのは、靖国の問題においてもいつも同じ質問ばかりしているんですよね。安倍さんは世界の指導者もみんなそうやってますと、アーリントン墓地の例をあげながらいつも言ってるんですが、「アーリントンは国立墓地ですが宗教施設ですか？アーリントンには死刑を受けた人が埋葬されていますか？」そういう話なんですよ。安倍さんが国際的に世界の指導者はみなそうやってました、アーリントンもそうです。アーリントンに行って祈るのはアメリカがやってるじゃないですかという話の時に、なぜそういう質問が出ないかということなんですね。アメリカの記者の立場から見ればたまらない話なんですよ。



符 マレーシアでは、今の日本をどのように見えていますか？

符 金さんも李さんも報道現場で大変活躍されている方々です。現場の経験を踏まえた沢山の話聞かせて頂いてありがとうございます。今日、マレーシアの留学生の方も座談会を聞いています。お二人への質問はありますか。

学生 たぶん靖国神社の参拝に対しては、責めていると思います。私は先月マレーシアに帰りましたが、その時見たチャンネル・ニュース・アジアの報道のニュアンスは日本を責めていました。見ていると安倍総理が可哀想に感じましたね。

学生 特にありませんが、聞いている話だと、安倍総理は日本の文化はけっこう特殊だと感じているようです。安倍総理は国際舞台で仕事をしているのに、そのまま日本の文化を持ち込んでいるわけで、そこでちょっとやっていることとされていることの間に差が出ているのではないかと思います。じゃあどうすればいいのかという話になりますね。

異を認め同を求める

符 私も東南アジア出身です。シンガポールは7割が中国系ですので、意外に日中関係を重視しています。なるべく早く両国が仲良くなってほしいです。また韓国からも東南アジアには沢山の企業が行っていますので、東アジアは私たちにとってはとても重要な地域です。第2次世界大戦を見ても、

結局戦争が起きて、最終的には東南アジアまで及ぶのです。そういう時代に戻さないようにどういうふうにやっていけばいいのか、もちろん現在では日本は民主国家でありますし、マスコミも民主的と私たちは思っています。そこで、私たちも正直に、真実に基づいて伝えたいと思っています。本当にこの僅かの時間ですので、私たちがまだ伝えてない沢山のことがあると思います。

小木曾 私は昭和9年(1934年)生まれなんですけど、新制高校の第一回生なんです。いわゆる戦後民主主義になってからの教育を受けてずっと育った。大江健三郎とかと同じ世代なんです。ですからいろいろありましたが、日本の政治は民主主義を受入れて、民主的政治をやってきましたよね。ただ選挙制度(小選挙区制)は各選挙区で一票でも多く取った候補者が議席を独占するという結果になって、必ずしも民意を反映していないと思うのですが、その民主主義の政治を担ってきた人間達が今問われていると。つまり政府などというのは、一番長い内閣だって5年位しか続かないんですからね。失敗したけど、民主党政権に代わりましたよね。そういうことで本当に日本の中の民主主義が日本人のものになっているのなら、時々右に行っても左に行ってもちゃんとしたところに戻すことができるかどうか。そこが問われていると思います。



編集部 限られた時間でしたが、問題点を非常に的確に指摘していただきありがとうございます。時間となりましたので、これで終わりに致したいと思います。ありがとうございました。

金 問題点は多々あると思うのですが、中国の周恩来が使っていた言葉だと思うのですが、“キュードウゾンイー求同存異”、我々はやはり異なるわけですから、お互いに異なることは認めながら、その中で同じものを求めていく、探していく。なかなか難しいことではありますが、そういう精神を共有してゆく事が必要ではないかと思います。

編集部 ABKでの生活まさにそうなんです。ここに生活する各国からの留学生、日本人学生が思想とか宗教とか文化とか、社会体制とかの違いを認め合いながら共同生活を通しお互い切磋琢磨しながら学び合い友愛を培う場なんですね。

(完)

日本に来た目的を忘れないように！

リム ジセル グレース フェルナンド

(Ms. LIM, GISELLE GRACE FERNANDO) ~フィリピン

東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻

社会人から留学生へ

私はフィリピンの大学を卒業後、ラボ・サービスの会社で研究やマーケティングの仕事をしていました。仕事は充実していて楽しかったのですが、入社から5年経って同期の友人が昇進する中、自分にはそのような話がなくて将来が心配になってきました。それで、大学院を出ればもっといいポジションに上がれるかもしれない……そう思ったのが大学院進学を考えたきっかけでした。

留学という道は経済的な事情からまったく考えていなかったのですが、ある時、会社の上司が、味の素の奨学生募集（アセアン留学生向け奨学金給与制度）のポスターを見て、私にそのことを教えてくれたんです。この奨学金制度は毎年ASEAN 5か国（フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシア）の学生に奨学金を支給して日本で学んでもらおうというもので、その年の募集が第1回目でした。各国1人の採用なので絶対に無理だ

と思い、あまりいろいろなことを考えず、期待もせずに応募をしたのですが、採用通知をいただくことができました。

面接官の方は、選考に当たって大事なのは学校の成績よりも、日本で家族と離れて一人

かわかりませんし、私が奨学生として本当に適しているのか今でも自信はないのですが、今こうして日本で勉強ができることについて、味の素には本当に感謝をしています。

日本人の印象は

来日し、日本で生活をしてみて感心するのは、日本人はみんな真面目でよく働くということです。私もそういう性格なので、ここに暮らして日本人の仕事に対する姿勢を見ると、フィリピンでは経験しなかった心地良さを感じます。

一方で日本人について戸惑うのは、頭の中と口に出すことが違うということです。留学してすぐ同じ研究室のフィリピン人の先輩に「日本人はたまに言っていることと考えていることが違うので、気をつけなさい」と言われたのですが、その通りだなと感じることがよくあります。

例えば「これではダメ」と言いたい時、はっきりそう言いませんね。日本人同士なら、言い



で生活できる力があるかどうかだとおっしゃっていました。応募者のほとんどは学部が終わってすぐの人たちでしたから、私の社会人経験を買ってくれたのかもしれませんが、でも実際、私がなぜ選ばれたの



フィリピン人日本留学生のグループ「AFSJ = Association of Filipino Students in Japan」。グループとして、文化祭等様々なイベントに参加しています。(上段中央)



東大の正門前で。初めてイチョウを見ました！

回しから相手が何を言いたいのか察することができると思うのですが、私にはわかりません。もちろん相手を傷つけないように遠回しに伝えるという日本の配慮の文化は素晴らしいのですが、外国人である私には、はっきり言って欲しいと思う時がよくありますね。

また、先生と生徒、組織の上司と部下の関係もフィリピンとは大きく違います。フィリピンでは大学の先生や会社のボスとは友達として会話ができるのですが、日本では距離というか、壁がありますよね。私の今の先生はとても優しい方ですが、私たちとは格の違いを感じて、いつも先生の前では緊張してしまい、友達のような自然な会話は絶対にできそうにありません。フィリピンでの先生と学生との関係はもっとフレンドリーで親密なものなんです。

フィリピン人にとっての日本留学

フィリピン人にとって日本留学の良さはいろいろあると

思うのですが、まず一番良いのは、“近い”ということです。寂しい時、家族に何かあった時にすぐ帰れるというのは大きいですね(笑)

それと日本人の働く姿勢を間近に見て学べることは、フィリピン人にとって、とてもいいことだと思います。例えば、お店に入ればスタッフはみんな優しく、お客さんに対するリスペクトも感じます。フィリピンではそういう店員は珍しい。その心地良さは体験して見なければ学べませんから、ぜひ多くの若い人に日本に来て欲しいですね。

それから、アルバイトが出来ることも日本留学のメリットですね。英語力を生かした仕事で日本の中高生と交流することもあり、私にとってのアルバイトはお金のためだけではなく、貴重な出会いと体験の場になっています。

また、学問について、私は今たんぱく質の研究を行っていますが、理系分野では日本が世界で一番優れていると思っています。日本は経済的にも恵まれていますから大学の研究費も豊富でいろいろな

サポートが受けられます。日本の大学で学んでいると当たり前のことになってしましますが、それは本当に素晴らしいことだと思います。

私は大学院入学当初、自分が考えた研究テーマについて、先生から「基本的なこと過ぎて研究として成り立たない」と言われましたが、それはフィリピンなら十分大きな研究として認められることです。つまり、フィリピンに比べて日本ではかなり高度な研究ができるわけですが、私にとってはそれが問題になることもあります。

なぜならフィリピンの場合はずっとに実用化できるような研究でなければ研究費をもらうのは難しいからです。東大を卒業してフィリピンに帰国した先輩はフィリピン大学で先生をやっていますが、日本で行っていた研究はフィリピンでは高度過ぎるため、続けたくても大学のサポートが受けられないと嘆いていました。私の今のテーマもすぐに実用化できるものではないので、これからどうするか、帰国後のことも考えていかなければ



家族と一緒に。2013 年お正月、アメリカで



2012 年の夏、友達と富士山登山。
富士山には2回登っています！

ならないと思っています。

日本に来て気づいた フィリピンのこと

日本に来て改めて気付いたフィリピンの良さもあります。その一つがフィリピンでは家族のつながりが強いということです。日本の家族の形は、お父さんは外で一生懸命働いて、お母さんは家で子供の面倒を見たり家事をしたり、というのが基本だと思います。それは決して悪いことではないのですが、女性がキャリアを捨てて家に入るというのは、フィリピン人女性としては受入れがたいことなんです。

フィリピンでは共働きが当たり前で、女性は何の問題もなくキャリアを続けられます。普段の子供の面倒は祖父母や親戚、兄弟など大勢の家族でみます。家族の強いつながりがあるから、フィリピンの女性は働き続けることができる。それを日本に来て改めて実感しました。

反対にショックだったこともあります。それはフィリピン

ンには他国の人に対して堂々と紹介できるオリジナルの文化がない、ということに気づいたことです。日本にはたくさんの伝統文化が残っています。それらは次世代に受け継がれ保存されています。フィリピンの場合、料理はスペイン料理の影響が強く、言葉もスペイン語と英語の影響を強く受けています。伝統衣装を着る機会也没有。教育も今は子供の時から英語でしますから、タガログ語を理解できない若者がこれから増えていくかもしれません。

だからフィリピン文化のことを紹介して欲しいと言われても、何をすればいいのか、すぐにアイディアが出てこない。日本に来る前は、こんなことを考えたことはなかったのですが、今はすごく寂しく感じています。

留学生へのアドバイス

これは自分自身に毎日言っていることなのですが、日本に住んで学べるのは人生の中でも限られた短い時間ですよ

ね。ですから、毎日日本にいることのメリットを考え、それを確認しているんです。日本では日本語を学べて、安全で便利な生活を送れる。交通、コンビニ、自動販売機、交番・・・毎日日本の良いポイントを考えるんです。一人で寂しいから、大変だから、日本生活の素晴らしさを考えて、寂しさと辛さを打ち消すんですね。

それから日本での生活は一人ですからいろいろな誘惑があります。アルバイト、友達、恋人、イベント…いろいろなことが勉強の妨げになります。注意してくれる家族はいませんから、誘惑に乗ってしまうのは簡単です。すぐに学校のことを忘れてアルバイトに打ち込んでしまう人もいるでしょう。もちろんアルバイトはお金だけではなく良い人生経験になりますが、一番大事なこと…私たちが日本に来た目的は「学校で学ぶ」ということです。それを忘れてはいけませんね。

お互いにいつも勉強を第一に考えて、日本の生活を楽しみましょう！

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

⑤ タイの中の日本

池田 隆

泰日工業大学 (TNI)、この大学では全学生に日本語学習が義務付けられている。そのため、入学してくる学生は、そのほとんどが日本語学習未経験者だが、日本に対して強い興味や憧れを抱いている。日本のマンガやアニメは学生に大人気で、あまり出来ない学生でも、たまに、ポロッと、ハイレベルな単語を口に出ることがある。とても喜ばしいことである。また、学生がプロジェクトで興味のあることについて発表する時も、日本に関係するものをテーマに選ぶ学生が多い。

このように、学内では日本の存在は非常に大きい。同様に、学外、即ちタイの社会でも日本の存在はかなりのものである。自動車、電気製品は言うに及ばず、書店に行けば、「日本料理の作り方」「日本観光のガイドブック」「日本式ビジネス」等、タイ人による著作が並び、日本人著作の翻訳版もたくさん売られている。

日本料理の人気も高い。日本料理は油が少なく、健康的である。それに加えて、おしゃれなイメージでとらえられている。タイ人の経営で、タイ人を対象とした店が無数にある。日本料理は完全にタイに溶け込

んでいる。

牛丼の吉野家もタイ進出を果たしている。しかし、日本のスタイルとは異なっている。若者向けのファーストフード店のような雰囲気であり、「牛丼」「豚丼」「うどん」「カレー」「鳥天丼」等、日本国内の普通の店舗よりメニューが豊富である。実はこれには理由がある。タイでは一般に豚肉が好まれており、牛肉の消費は多くない。日本料理が人気とはいえ、牛丼一本ではタイの市場を攻略することは難しい。タイの食事情に合わせた企業努力なのである。

日本語の文字もよく見かける。例えば、お菓子の名前をあげると、「ありがとう」「はなみ」「おこめ」「おのり (海苔)」「どうぞ」等である。他の食品では、天ぷら粉や、唐揚げ粉、カニかま等にも日本語が使用されている。ちなみに、タイ人はカニかまが大好きで、いろいろな料理に入っている。

日本の歌やアニメ、ドラマなどの影響で、日本語を使うとデザイン的に「かっこいい」、「かわいい」という認識があるようである。

しかし、時々、「？」や「！」と、思ってしまう日本語もある。T シャツに大きく「トップ (洗剤の名前)」 「日本人恋人募集



中」等とプリントされているものを時々見かける。

筆者にとって、より強いインパクトを覚えた日本語は次の様なものである。

●「やっぱり気になる！はじめてのおけいことガイド」

これは東北タイの田舎の田舎でお寺の行事に参加した時、見かけたもの。「気になる」なんて、それはこちらのセリフだと思わずツッコミを入れたくなってしまう。デザインした人は、意味が分かっていたのか否か。謎である。

●「沼津市静岡県。」

筆者は沼津の高校に通っていたため、嬉しくて写真をとってしまった。写真の場所は、全国展開する巨大量販店内である。デザインしたのは、明らかにタイ人であろう。その証拠に、静岡県と沼津市の順序が逆であり、なおかつ、名詞には「マル」を付けないのに、御丁寧に付けてある。初級の日本語学習者特有の書き方である。しかし、

日本好きなデザイナーの温もりが感じられるこだわりの逸品である。

●「大和魂」

これを見た時、即座に写真をとってしまった。まさかタイでこの言葉に出会うとは思ってもしなかった。このトゥクトゥクの運転手に聞いてみると、「ムサシ、ムサシ」と言いながら、パンチのジェスチャーをした。筆者はあまり格闘技を見ないが、「武蔵選手」と言えば、反則攻撃を受け、苦痛と戦いながらも勝利した試合を思い出す。とても感動し、勇気付けられた試合であった。まさに大和魂であった。4月、真夏のバンコク。夏バテ気味の筆者も、「大和魂」を見て元気になってきた。

タイ人は、タイ人なりの発想で、自由に、柔軟に日本という国を解釈し、楽しんでいる。

親日的な国、タイとの距離は日本人が考えている以上に近い。

池田隆（いけだたかし） 泰日工業大学（TNI）教養学部日本語講師。2003年青年海外協力隊員として、タイ国ウボンラチャタニ大学に赴任。その後、タイ南部タクシン大学を経て、現職。

ABK is My Home

久々に来館した元在館生たち



2013/9/30

周麗齡さん（台湾）来館

1984 ～ 1989 年 ABK 在館。24 年ぶりの ABK!! 同期のシンガポールの符祝慧さん・近藤さんご夫妻と（前列左）

2013/10/1

権泰弘さん（韓国）来館

34 年ぶりの ABK!! 1979 年、旧神戸銀行で研修を受け、帰国後以来の訪問。



2013/10/8

張素華さん（中国、在カナダ）来館

2001 年以來の来日・来館 !!



2013/12/17

Chai Teck Siong (Singapore) さん来館

元 ILO 研修生として旧横河電機で研修中 ABK 滞在。30 年ぶりの ABK! 現在はシンガポールの Nanyang Polytechnic 教師。上記写真は、Chai さんからその後送られてきた 1983 年の ABK 新年会の写真。Chai さんは向かって左から 2 人目。

2014/1/16

Mr. & Mrs. Alain Golay (Swiss) 来館

42 年ぶりの ABK!!! ABK 同期の雅留宮久磨呂御夫妻と来館



2014/4/7

Mr. Ang Khoon Chye さん (Malaysia) 来館

1986 年帰国後、28 年ぶりの来日 !! 2013/10/26 の (学) ABK 学館設立記念式典に参加できず、4 月来日で、ABK 学館との対面を果たす!

久々に来館した元在館生たち



2014/4/11

Mr. & Mrs. Lutfar Rahman

(Bangladesh、在米) 来館

44年ぶりの来館!!! 慶応義塾大学・
大学院卒、ABKには研修生で滞在

ご来館

2014/1/27 タイ・TPA Damrong 事務総長以下幹部職員計13名がJTECSプロジェクトで来日しました。



(学)
ABK学館日本語学校の1Fロビーで
佃校長と

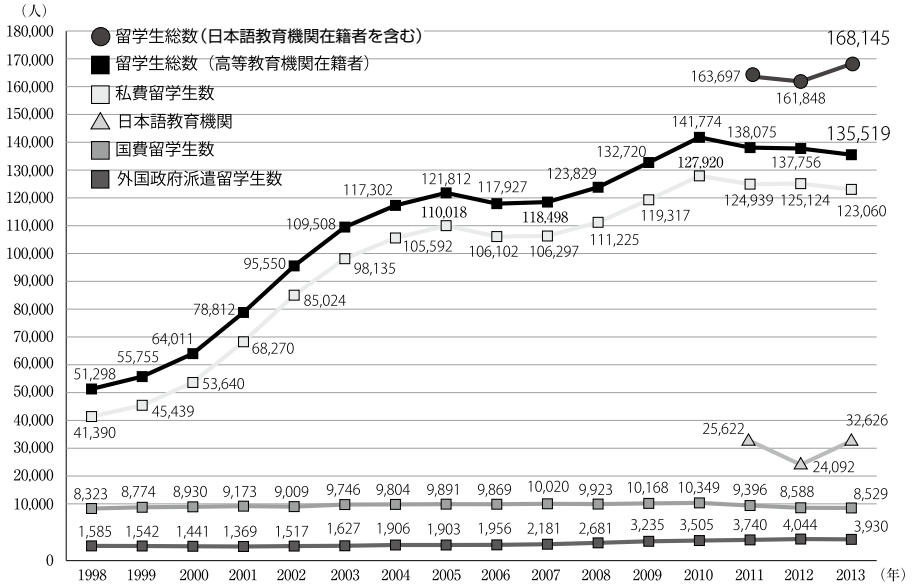
平成25年度 外国人留学生在籍状況調査結果

独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）実施の統計資料より

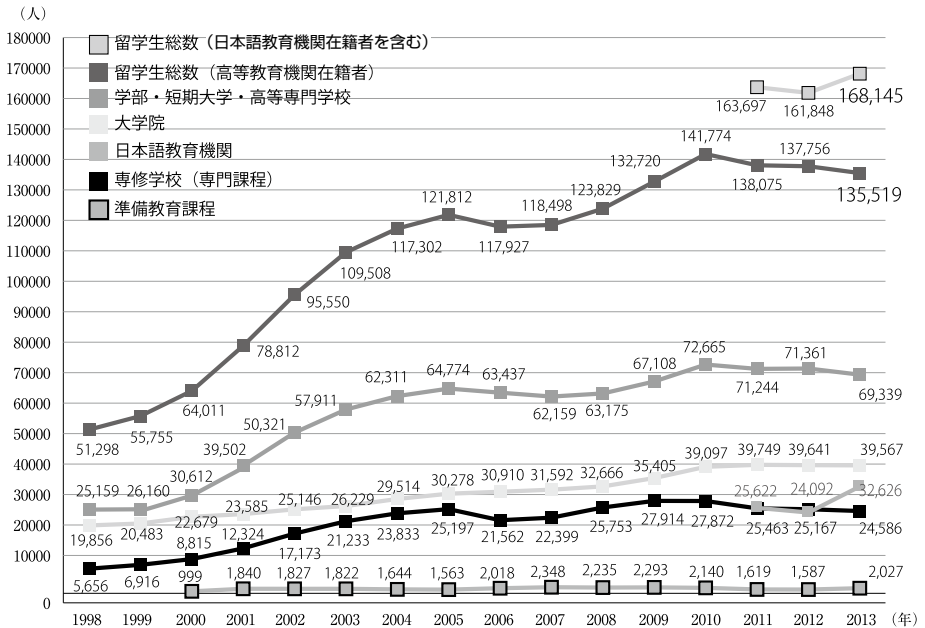
平成25年（2013年）度の外国人留学生在籍状況調査結果が公表された。日本語教育機関在籍者を除く留学生総数（高等教育機関在籍者）は2010年をピークに穏やかに減少している。

（各データは平成25年5月1日現在）

▶ 留学生数の推移（各年5月1日現在）



▶ 所属学習機関による留学生数の推移（各年5月1日現在）



▶ 出身地域別留学生数

地域名	留学生数	構成比	左のうち短期留学生	
			留学生数	構成比
アジア	124,542人 (127,170)	91.9% (92.3)	7,795人 (6,876)	66.6% (61.7)
欧州	4,753人 (1,456)	3.5% (3.2)	2,482人 (2,240)	23.2% (20.1)
北米	2,391人 (2,435)	1.8% (1.8)	1,834人 (1,551)	13.9% (13.9)
中近東	1,233人 (1,112)	0.9% (0.8)	55人 ⁽⁴³⁾	0.5% (0.4)
アフリカ	1,155人 (1,106)	0.9% (0.8)	83人 ⁽⁶⁶⁾	0.7% (0.6)
中南米	946人 (926)	0.7% (0.7)	135人 ⁽¹⁰¹⁾	1.2% (0.9)
オセアニア	499人 (543)	0.4% (0.4)	233人 ⁽²⁰⁷⁾	2.0% (2.4)
計	135,519人 (137,796)	100.0% (100.0)	11,717人 (11,146)	100.0% (100.0)

()内は平成24年5月1日現在の数

▶ 出身国（地域）別留学生数

国(地域)名	留学生数	構成比	国(地域)名	留学生数	構成比
中国	81,884人 (84,324)	60.4% (62.7)	フィリピン	507人 (497)	0.4% (0.4)
韓国	15,304人 (16,631)	11.3% (12.1)	モロッコ	472人 (413)	0.3% (0.3)
ベトナム	6,290人 (4,773)	4.6% (3.2)	英国	432人 (406)	0.3% (0.3)
台湾	4,719人 (4,617)	3.5% (3.4)	ロシア	339人 (333)	0.2% (0.2)
ネパール	3,188人 (3,481)	2.4% (3.0)	カンボジア	338人 (313)	0.2% (0.2)
インドネシア	2,410人 (1,279)	1.8% (1.1)	オーストラリア	312人 (346)	0.2% (0.2)
タイ	2,383人 (1,347)	1.8% (1.4)	カナダ	308人 (305)	0.2% (0.2)
マレーシア	2,293人 (2,108)	1.7% (1.7)	ブラジル	275人 (273)	0.2% (0.2)
アメリカ合衆国	2,083人 (1,333)	1.5% (1.1)	スウェーデン	254人 (240)	0.2% (0.2)
インドネシア(短期滞在)	1,593人 (1,331)	0.9% (0.8)	エジプト	229人 (213)	0.2% (0.2)
モンゴル	1,138人 (1,318)	0.8% (0.8)	ウズベキスタン	227人 (200)	0.2% (0.2)
パキスタン	875人 (1,003)	0.6% (0.6)	ラオス	218人 (233)	0.2% (0.2)
スリランカ	794人 (678)	0.6% (0.5)	イタリア	217人 (145)	0.2% (0.1)
フランス	793人 (740)	0.6% (0.5)	シンガポール	209人 (231)	0.2% (0.2)
ドイツ	599人 (580)	0.4% (0.4)	その他	4,856人 (5,440)	3.6% (3.2)
インド	560人 (543)	0.4% (0.4)	計	135,519人 (137,796)	100.0% (100.0)

()内は平成24年5月1日現在の数

▶ 出身国（地域）別短期留学生数

国(地域)名	留学生数	構成比	国(地域)名	留学生数	構成比
中国	3,719人 (3,478)	31.7% (31.3)	オランダ	88人 (98)	0.8% (0.8)
アメリカ合衆国	1,480人 (1,490)	12.6% (12.6)	スペイン	82人 (77)	0.7% (0.6)
韓国	1,473人 (1,389)	12.6% (11.3)	ルウェー	60人 (58)	0.5% (0.5)
台湾	871人 (829)	7.4% (7.4)	マレーシア	57人 (48)	0.5% (0.4)
フランス	521人 (456)	4.4% (4.1)	スイス	53人 (41)	0.5% (0.4)
ドイツ	433人 (415)	3.7% (3.7)	ブラジル	49人 (37)	0.4% (0.3)
タイ	345人 (301)	2.9% (2.7)	モンゴル	47人 (35)	0.4% (0.3)
英国	325人 (291)	2.8% (2.7)	ポーランド	47人 (40)	0.4% (0.4)
オーストラリア	203人 (229)	1.7% (2.0)	メキシコ	45人 (34)	0.4% (0.3)
ベトナム	176人 (138)	1.5% (1.4)	シンガポール	44人 (48)	0.4% (0.4)
インドネシア	158人 (106)	1.3% (1.0)	フィリピン	43人 (40)	0.4% (0.4)
カナダ	154人 (142)	1.3% (1.3)	ベルギー	39人 (36)	0.3% (0.3)
スウェーデン	123人 (122)	1.0% (1.0)	インド	38人 (31)	0.3% (0.3)
イタリア	120人 (10)	1.0% (0.0)	デンマーク	37人 (34)	0.3% (0.3)
ロシア	105人 (103)	0.9% (0.9)	その他	678人 (975)	5.8% (5.2)
フィンランド	104人 (93)	0.9% (0.8)	計	11,717人 (11,146)	100.0% (100.0)

()内は平成24年5月1日現在の数

出 身国（地域）別では中国、韓国の上位2か国は変わらずだが、ともに減少。ベスト3の常連だった台湾がベトナムに抜かれ4位に、ネパールが5位になった。10年前の平成15年度の数字と比較してみると、ベトナムは4.7倍に、ネパールは9.3倍に増加している。

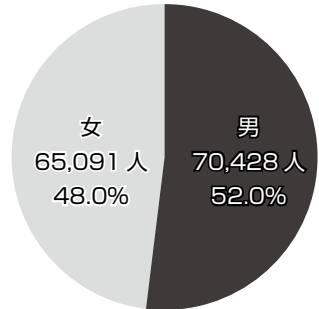
欧 米出身の留学生はその半数以上が短期留学生（1学期以内の在籍学生）として来日している。

▶在籍段階別・国公立別留学生数

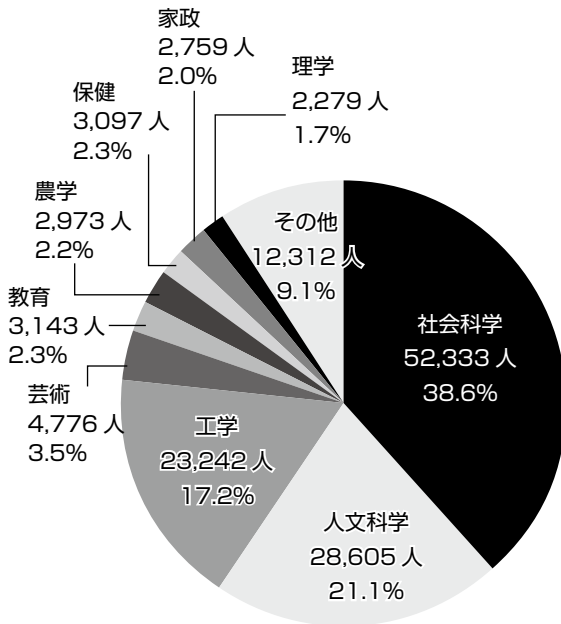
		国立		公立		私立		計	
		留学生数	構成比	留学生数	構成比	留学生数	構成比	留学生数	構成比
在 学 段 階	大学院	24,711人 (24,680)	62.5% (62.3)	1,722人 (1,680)	4.4% (4.2)	13,134人 (13,281)	33.2% (33.5)	39,567人 (39,641)	100.0% (100.0)
	大学 (学部)	10,453人 (10,293)	15.5% (14.9)	1,669人 (1,636)	2.5% (2.4)	55,315人 (57,345)	82.0% (82.8)	67,437人 (69,274)	100.0% (100.0)
	短期大学	0人 (0)	0.0% (0.0)	11人 (0)	0.8% (0.4)	1,427人 (1,597)	99.2% (99.6)	1,438人 (1,603)	100.0% (100.0)
	高等専門 学校	396人 (432)	85.3% (89.3)	0人 (1)	0.0% (0.2)	68人 (51)	14.7% (10.5)	464人 (484)	100.0% (100.0)
	専修学校 (専門課程)	1人 (0)	0.0% (0.0)	13人 (12)	0.05% (0.03)	24,572人 (25,155)	99.94% (99.95)	24,586人 (25,167)	100.0% (100.0)
	準備教育 課程	0人 (0)	0.0% (0.0)	0人 (0)	0.0% (0.0)	2,027人 (1,587)	100.0% (100.0)	2,027人 (1,587)	100.0% (100.0)
	計	35,561人 (35,405)	26.2% (25.7)	3,415人 (3,335)	2.5% (2.4)	96,543人 (99,016)	71.2% (71.9)	135,519人 (137,756)	100.0% (100.0)

()内は平成24年5月1日現在の数

▶男女別留学生数



▶専攻分野別留学生数

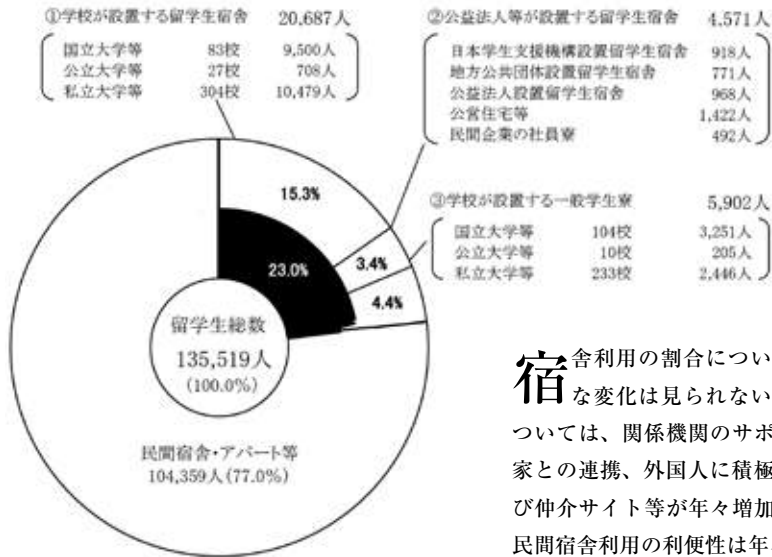


▶留学生受入れ数の多い大学

学校名	留学生数
早稲田大学	私立 3,899人 (3,771人)
日本経済大学	私立 3,385人 (3,135人)
東京大学	国立 2,839人 (2,873人)
立命館アジア太平洋大学	私立 2,420人 (2,526人)
大阪大学	国立 1,985人 (1,925人)
九州大学	国立 1,969人 (1,931人)
筑波大学	国立 1,744人 (1,681人)
京都大学	国立 1,684人 (1,664人)
名古屋大学	国立 1,648人 (1,611人)
東北大学	国立 1,435人 (1,428人)
立命館大学	私立 1,418人 (1,324人)
北海道大学	国立 1,384人 (1,347人)
日本大学	私立 1,277人 (1,378人)
慶應義塾大学	私立 1,256人 (1,203人)
東京工業大学	国立 1,255人 (1,241人)
同志社大学	私立 1,187人 (1,131人)
大阪産業大学	私立 1,127人 (1,098人)
神戸大学	国立 1,123人 (1,132人)
明治大学	私立 1,084人 (1,089人)
拓殖大学	私立 1,019人 (1,030人)
広島大学	国立 995人 (1,005人)
千葉大学	国立 884人 (961人)
横浜国立大学	国立 873人 (861人)
明海大学	私立 862人 (924人)
国士舘大学	私立 817人 (967人)
中央大学	私立 798人 (750人)
城西国際大学	私立 785人 (810人)
東京国際大学	私立 774人 (835人)
上智大学	私立 735人 (757人)
関西大学	私立 721人 (726人)

()内は平成24年5月1日現在の数

▶留学生宿舍の状況



宿舎利用の割合については、しばらく大きな変化は見られない。民間アパート等については、関係機関のサポート、学校と近隣大家との連携、外国人に積極的な不動産業者および仲介サイト等が年々増加しており、留学生の民間宿舎利用の利便性は年々増している。また、保証会社を利用できる物件も増えており、留学生にとって問題だった保証人を探す手間も軽減されつつある。

日本語教育機関（専修学校を除く）在籍の留学生の状況

（平成24年5月1日現在の数字）

▶出身地域別留学生数

地域名	留学生数	構成比	前年比
アジア	31,261人	95.8%	8,340
欧州	931人	2.9%	157
北米	213人	0.7%	26
中南米	70人	0.2%	25
中近東	66人	0.2%	4
アフリカ	52人	0.2%	▲16
オセアニア	33人	0.1%	▲2
計	32,626人	100.0%	8,534

▶出身国（地域）別留学生数

国・地域	留学生数	構成比	前年比
中国	15,991人	49.0%	912
ベトナム	7,509人	23.0%	5,774
ネパール	2,619人	8.0%	1,469
韓国	1,979人	6.1%	▲289
台湾	941人	2.9%	▲21
タイ	493人	1.5%	87
ミャンマー連邦共和国	405人	1.2%	▲13
インドネシア	377人	1.2%	156
モンゴル	264人	0.8%	92
スリランカ	260人	0.8%	85
その他	1,788人	5.5%	282
計	32,626人	100.0%	8,534

上位ベスト3の常連だった韓国と台湾を抜き、ベトナムとネパールがそれぞれ3位、4位に躍り出た。韓国は2008年度調査では1万人を超えていたが、ここ数年で著しく減少している。台湾も2009年をピークに減少している。



奨学金情報

■ エルエスエイチアジア奨学会 奨学金

●対象：①次の日本語教育機関（学校）に平成26年7月1日現在在籍する在留資格「留学」を有する者（学生）。ア.平成25年4月1日以前より在留資格「留学」を持つ外国人に対して専ら日本語教育を行っている専修学校を除いた各種学校又は設備及び編成に關して各種学校に準ずる教育機関であること（除く大学附属日本語別科、専門学校日本語科）イ.平成25年4月30日以降の日本語学習コースに在籍する学生の在籍実数が20人を下回らない学校であること ②学校が推薦する在留資格「留学」のアジア出身の学生 ③平成26年7月1日現在に、推薦を受ける学校に3か月以上在籍し、なおかつ同日より6か月以上の在籍予定の者 ④平成26年7

月1日以前の出席率が90%以上で優秀な勉強姿勢を有しており、その後も同等以上であることが認められる者 ⑤将来の母国と日本の交流に資することを目的に日本語学習を行っている者 ⑥現在および本奨学金給付期間中、他の奨学金給付を受けておらず、また受ける予定のない者

●給付金額：10万円（平成26年8月より同年12月までの5か月分）

●採用人数：エルエスエイチアジア奨学生…概ね40人、冠奨学生…若干名

●応募：学校を通じて 7月末日締切

●実施団体：特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会事務局

Tel 03 (5295) 0252 <http://www.lsh-asia.org/>

■ 松前国際友好財団 研究奨励金

対象：①来日経験がなく、日本以外に居住の博士課程修了者かそれに相当すると認められた者 ②英語または日本語の会話能力が研究活動に支障を来さない者 ③年齢49歳以下の者 ④応募者自身の国において確固た

る地位・職業を持ち、招聘後は本国に戻る者 ⑤研究分野…自然科学・工学・医学の研究分野は優先度が高い

給付金額：月額200,000円（他に旅行者保険、旅費、来日一時金）

きゅうふきかん ねん がつ ねん がつ
給付期間：2015年4月から2016年3月の
 あいだ げつじょう げついか
 間で3か月以上6か月以下

めい
招聘者数：20名

おうほ おうぼしや かなら ざいだんじむきよく さいしん えい
応募：応募者は必ず財団事務局より最新の英
 ぶんようこう にゅうしゅ もと おうぼ
 文要項を入手し、これに基づいて応募するこ
 と。要項の入手方法は、郵便または電子メー
 ルにて氏名ならびに住所を記入し、財団あて
 に問い合わせること。または、財団ホームペ
 ージより要項を入手し、応募申請書（PDFフ
 ァイル又はMS Word ファイル）を印刷して
 使用することが出来る。

おうぼしや しかく ぼしゅうようこう きさい
 応募者の資格および募集要項に記載されてい
 るその他の条件を満たさない者からの要望等
 には一切応じない。応募書類は応募者自身
 の母国より提出すること。

おうぼしや ぼこく ちよくせつ
応募：応募者自身が応募書類を母国から直接
 ていしゅつ がつまつひつちやく
 提出。8月末必着

じっしだんたい こうえきざいだんほうじん まつまえこくさいゆうこうざいだん
実施団体：公益財団法人 松前国際友好財団
 どうきょうとすぎなみくみおぎ
 東京都杉並区上荻 4-14-46

Tel 03-3301-7600

<http://www.mars.dti.ne.jp/~mif/indexj.html>

■なごや留学生フレンドシップ事業 奨学金

●対象：①名古屋市内の大学・大学院に在学
 している次の留学生 A. 日本語・日本文化
 （日本経済・日本政治などを含む）を専攻して
 いる、またはしようとしている者 B. 名古屋
 市の姉妹都市から来て、名古屋市内の大学・
 大学院で教育を受けている、または受けよう
 としている者 ②名古屋市内の大学に私費で
 在学している、または在学を予定している者
 ③名古屋市内に在住している、または在住し
 ようとする者 ④各種交流事業等への参加の
 意思がある者 ⑤国民健康保険に加入してい
 る、または加入を予定している者 ⑥申込み
 時において、国際留学生会館に居住していな
 い者 ⑦月間の収入額が10万円以下の者 ⑧
 申込み時において1年以上の在学・留学を予
 定している者 ⑨大学または姉妹友好都市の
 推薦がある者

●支給額と期間：A…滞在費として月額
 100,000円を原則として6か月から1年
 B…滞在費として月額100,000円を原則とし
 て6か月から1年支給するのに加え、現住所
 の最寄りの国際空港から中部国際空港までの
 渡日旅費と最大6か月間の日本語学習費（授
 業料および入学科）を支給

●応募：大学を通じて 6月末日締切

●問合せ：名古屋市役所 市長室 国際交流課

<http://ryugaku-friendship.city.nagoya.jp>



イベント情報

国際交流 in 北海道

①第36回 国際交流夏のつどい

- 日程：2014年8月20日（水）～8月31日（日）
- 定員：100名
- 参加費：・フリープラン 38,000円 ・羽田プラン 75,000円 ・関西プラン 79,000円
- 内容：ホームステイ9泊10日（北海道「道南」エリア）。家庭交流、地域交流（各市町村ごとに行う地域別の交流）、学校交流（地域の小学校、中学校、高校に行き、子どもたちと交流）、全体交流（留学生・ホストファミリー・各市町村の方々約300名が集まり、全体で交流）
- 募集締切り：6月20日（金）※ 先着順

②第12回 国際交流のつどい ファーム体験プログラム

- 日程：8月20日（水）～8月26日（火）
- 定員：30名
- 参加費：79,000円
- 内容：ホームステイ2泊3日、ファーム体験（農業や漁業）2日間・・カヌーでエビ漁体験、炭焼き体験、農業体験・もちつき体験、乗馬体験・キャビン宿泊体験
- 募集締切り：6月20日（金）※ 先着順

③道央で過ごすホームステイプログラム

- 日程：2014年8月20日（水）～8月29日（金）
- 定員：11名
- 参加費：73,000円
- 内容：北海道のほぼ中央にある、南富良野町または剣淵町に7泊8日間ホームステイ。家庭交流、地域交流、学校交流など
- 募集締切り：6月20日（金）※ 先着順

問合せ・申込み：一般財団法人 北海道国際交流センター（HIF）

〒040-0054 北海道函館市元町14-1 Tel 0138-22-0770 E-mail tudoj@hif.or.jp

ホームページ <http://www.hif.or.jp>

泰日工業大学のクリサダー学長が春の外国人叙勲受章

日本政府が4月29日に発表した2014年春の外国人叙勲受章者で、ABKの姉妹団体である泰日工業大学のクリサダー・ヴィサワティーラノン学長が旭日中綬章を受章しました。クリサダー学長は日本・タイ間の学術交流および相互理解の促進に寄与したことが評価されました。TPA理事、前チュラロンコーン大学準教授。



MEMBERS

〈会費とご寄付の報告〉

2014年2月

正会員

(1口)

山海 保	葛飾区
名越 修	三浦郡
アジア・コミュニティ・センター	
21	文京区
小木曾 建	世田谷区
松崎 松平	世田谷区
松岡 弘	相模原市

ご寄付

栗原 千鶴子／名女川 由利
逗子市

2014年3月

特別会員

来山 文泰 文京区

賛助会員

布施 知子 目黒区

正会員

(2口)

清水 勇治／泰代 高崎市

(1口)

植田 泰史	那珂市
平田 熙	松戸市
石川 清子	渋谷区
熊沢 敏一	松戸市
小野寺 武夫	国分寺市
李 景珉	世田谷区
渋谷 寧伸	西宮市
山本 章治	横浜市
孟令樺／計宇生	渋谷区
坂本 健	西東京市
白石 勤	千葉市
杉本 宏樹	杉並区
澤登 千恵子	国立市
馬杉 栄一	札幌市
岩佐 佳英	文京区
二村 美朝子	練馬区
田川 明子	港区
奥山 義夫	町田市
脇 英親	文京区
劉 開順	渋谷区
藪下 勝	千葉市
久保 哲也	北区
米林 太久実	品川区
(財) 国際協和奨学会	千代田区
田中 利恵子	東村山市
竹田 肇／和子	中野区
遠東国際貿易(株)	豊島区

飯沼 英郎

堤井 信力

柏原 きみ

泉 憲子

野口 明美

高道 俊彦

伊藤 源之

大井 裕子

(財) 守屋留学生交流協会

細川 哲士

三本 龍生

駒場 一成

濱田 修

鎌倉市

横浜市

北区

日野市

三鷹市

富山市

東久留米市

さいたま市

千代田区

八王子市

江戸川区

大田区

松原市

ご寄付

山口 憲明

吉原 エツ子

孟令樺／計宇生

奥山 節子

奥山 義夫

戸田 清

岡崎 道子

田中 利恵子

日野市

始良市

渋谷区

西村山郡

町田市

杉並区

池田市

東村山市

皆様の暖かい御支援に感謝申し上げます

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：公益財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設 立：1957年（昭和32年）9月18日

故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◇会費（年額）◇

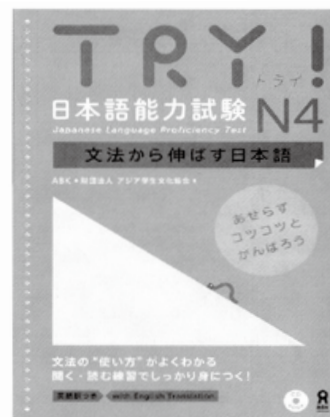
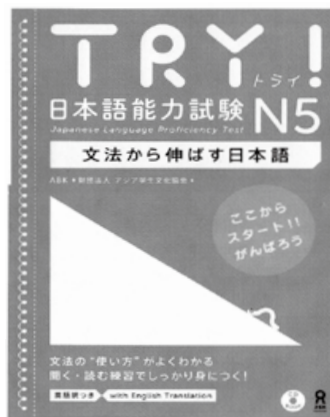
正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

ABK講師陣による「日本語能力試験」対策本登場！



(N1、N2) 1890 円 (N3、N4) 1785 円 (N5) 1575 円

著者：アジア学生文化協会日本語コース 発行：アスク出版

後 記

4月11日（金）、学校法人ABK学館の初めて入学式がABK日本語学校と合同で行われました。会場の文京区役所シビック小ホールには14カ国の学生250名近い学生が参加し、ひとりひとりの名前が呼ばれ、熱気に満ちた新しい門出となりました。たくさんの同窓生、関係者のご協力を頂いて出発した新日本語学校の新たなページの幕開けです。今後とも皆様のご支援とご協力を仰ぎつつ発展させて行きたいと思っています。この機会に改めてお礼申し上げます。（F）

在日特派員座談会は当初はアジア地域数カ国の特派員の座談会を企画したが、特派員はみなさん一人でカバーする範囲も広く、忙しく、出張も多いため、同時に一堂にお集まりいただくのは至難の業。従って、今回はこのところ関係が悪化している日中、日韓関係とその問題に焦点を合わせ調整することになった。ただ、中国の新華社の特派員は国営通信社のため制約があり断念し、中国出身で香港フェニックスTVの特派員にお願いすることに。また、日中、日韓の歴史問題等の議論に西側の視点も入れてはどうかと西ドイツの特派員の参加も企画したが、やはり日程が合わず断念。そして、初めての企画の在日特派員座談会は韓国、香港、シンガポールのメディアの特派員3名になった。流石日本に精通したベテラン記者3名の方は、様々な問題に精通し、的確に把握しており、予定した2時間では不十分。またの機会を作りたい。（F）

この春ABK日本語学校を卒業したマレーシアのHoe Hun Keongさんが、ABK滞在中に貯めた1円預金を寄付して、巣立って行きました。1,829円、とても価値あるご寄付です。ありがとうございました。（F）

アジアの友 2014 年 4 - 5 月号

2014 年 4 月 20 日発行（通刊第508号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 500 円（税込）

発行人 小木曾 友

編集 アジアの友編集部

発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)

電話番号：03-3946-4121

ファクシミリ：03-3946-7599

振替口座：00150-0-56754

E-mail: tomo@abk.or.jp

ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: http://www.abk.or.jp/

「アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。



学校法人 ABK 学館

ABK学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6328-3428

FAX +81-3-6328-3393

URL <http://abk-college.com>

E-mail college@abk.or.jp

2014年4月新規開校



ABK
COLLEGE

2013年4月に完成した新校舎
新築3階建て校舎。最新の設備設計を採

- 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校(英語名称:ABK COLLEGE)は1957年に設立された(公財)アジア学生文化協会が寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校します。当校には姉妹校のABK日本語コース(公財)アジア学生文化協会)もあり各種協力を行います。



授業風景イメージ



寮の一例



ABK日本語コース

ABK COLLEGE

ABK COLLEGE (学校法人ABK学館 ABK学館日本語学校)

東京都認可日本語課程(大学院・専門学校・就職・文化体験等)

4月 1年コース	860時間/1年	入学検定料	20,000円
		入学金	80,000円
		授業料(施設・教材費含む)	620,000円

姉妹校 ABK日本語コース(公益財団法人アジア学生文化協会)

文部科学省指定大学進学準備教育課程

4月 1年コース	1086時間/1年	入学検定料	20,000円
		入学金	80,000円
		大学進学 日本語課程 大学進学 準備課程	95,000円
10月 1.5年コース	1586時間/1.5年	授業料 (施設・教材費含む)	720,000円(1年)
			1,080,000円(1.5年)

所在地 〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13

電話 +81-3-3946-2171 FAX +81-3-3946-7599

URL <http://abk.or.jp>

E-mail reihongo@abk.or.jp

